



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 丸大食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2288 URL <https://www.marudai.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 加藤 伸佳

TEL 072-661-2518

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	110,557	1.2	754		515		575	
2022年3月期第2四半期	109,204	3.0	101		356		98	60.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 601百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 169百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	22.87	
2022年3月期第2四半期	3.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	132,132	73,851	55.4	2,925.15
2022年3月期	128,903	75,489	58.1	2,969.87

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 73,189百万円 2022年3月期 74,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				30.00	30.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	222,000	1.6	1,200		700		500		19.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	26,505,581 株	2022年3月期	26,505,581 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,484,918 株	2022年3月期	1,308,897 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	25,165,894 株	2022年3月期2Q	25,367,714 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているものの、行動制限の緩和などウィズコロナの新たな段階への移行が進められるなか、各種政策等の効果もあり緩やかな持ち直しの動きが続きました。しかしながら、世界的な金融引締め等が続くなか、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクが懸念されるなかでの原材料価格、エネルギーコスト等の上昇や供給面での制約、金融資本市場の変動など、景気の先行きは予断を許さない状況となっております。

当業界におきましては、行動制限緩和などの影響から外食需要に持ち直しの動きが見られるものの、急激な円安進行も加わり原材料やエネルギーなどの製造コストが上昇するなかで、物価高騰や実質賃金の低下による消費者の節約志向が強まるなど、厳しい環境が続いております。食肉相場におきましては、国産牛肉は、需要の回復がみられた前年を下回っていましたが、足もとでは前年並みで推移しております。米国産牛肉・豚肉は物価高に伴う需要の減少から現地相場は前年を下回って推移しておりますが、為替相場の影響等により、輸入価格は高値で推移しております。また、国産豚肉は、輸入豚肉の価格上昇などの影響から需要が高まり前年を上回って推移しております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比1.2%増の1,105億57百万円、営業損失は7億54百万円（前年同期は営業利益1億1百万円）、経常損失は5億15百万円（前年同期は経常利益3億56百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億75百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益98百万円）となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高 (注)			セグメント利益又は損失 (△)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	74,337	73,414	△922 (△1.2%)	△239	△767	△528 (-)
食肉事業	34,783	37,075	2,292 (6.6%)	308	△6	△314 (-)
その他	83	67	△16 (△19.8%)	33	19	△13 (△40.1%)
合計	109,204	110,557	1,353 (1.2%)	101	△754	△855 (-)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	33,028	31,323	△1,705 (△5.2%)
調理加工食品	41,308	42,091	783 (1.9%)

① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」などの主力商品を中心に、「はじける夏のジューシーキャンペーン」などの販促活動を実施しました。また、「いつも新鮮」シリーズから、濃厚でコク旨ジューシーな「いつも新鮮 特撰あらびきウインナー」や、人気キャラクターを使用した「ちいかわフィッシュソーセージ」などの新商品を投入し売上拡大を図りました。中元ギフトにつきましては、「王覇」「煌彩」シリーズをはじめ、国産豚肉を使用した「藻塩MEISTER糖質ゼロ」などを投入し拡販に努めました。これらの施策を行いました。しかしながら、価格改定による消費者の節約志向が高まるなかで販売数量が減少したことなどから、当部門の売上高は前年同期比5.2%の減収となりました。

調理加工食品部門では、レトルトカレー商品は、「ビストロ倶楽部ビーフカレー」シリーズを中心に、認知度向上に向けた販促活動を実施したことや、「シェフの匠」シリーズからは期間限定で「シェフの匠スパイスチキンカレー」を発売しました。また、本場の韓国料理を手軽に味わえる韓国料理の素「韓美食堂」シリーズや、たんぱく質を手軽に摂れる「高たんぱく糖質0gサラダチキン」シリーズなどの新商品を投入したことに加え、コンビニエンスストア向け米飯商品や、ホイップ済みクリームの高売高が堅調に推移したことなどから、当部門の売上高は前年同期比1.9%の増収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比1.2%減の734億14百万円となりました。また、価格改定の実施や合理化によるコスト削減に努めましたが、ハム・ソーセージ部門の減収や価格改定を上回る原材料・エネルギーコストの上昇などから、7億67百万円のセグメント損失（前年同期は2億39百万円の損失）となりました。

② 食肉事業

牛肉につきましては、量販店向け高価格帯国産牛肉の販売が低調に推移しましたが、行動制限緩和などの影響により、外食産業向け販売が前年を大きく上回ったことなどから、牛肉全体の売上高は前年を上回りました。豚肉につきましては、量販店向け販売単価の上昇や外食産業向け販売が持ち直したことなどから、国産、輸入ともに、売上高は前年を上回りました。鶏肉につきましては、輸入鶏肉の売上拡大に注力したことなどから、好調に推移しました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比6.6%増の370億75百万円となりましたが、急激な円安進行や飼料価格の高騰に伴う仕入価格の大幅な上昇に対して価格転嫁が十分に浸透していないことなどから、6百万円のセグメント損失（前年同期は3億8百万円の利益）となりました。

③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比19.8%減の67百万円、セグメント利益は前年同期比40.1%減の19百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	128,903	132,132	3,228
負債	53,414	58,280	4,865
純資産	75,489	73,851	△1,637
自己資本比率	58.1%	55.4%	△2.7%

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金6億7百万円の減少がありましたが、原材料及び貯蔵品が22億67百万円、商品及び製品が10億2百万円、受取手形及び売掛金が6億7百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ32億28百万円増加し、1,321億32百万円となりました。

負債は、有利子負債が28億52百万円、支払手形及び買掛金が20億40百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ48億65百万円増加し、582億80百万円となりました。

純資産は、剰余金7億55百万円の配当や親会社株主に帰属する四半期純損失5億75百万円の計上、自己株式2億76百万円の取得などから、前連結会計年度末に比べ16億37百万円減少し、738億51百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から2.7%低下し、55.4%となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,716	1,136	△3,579
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,475	△2,928	△453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,113	1,184	3,297
現金及び現金同等物の増減額	128	△607	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,604	7,383	△1,221

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加による減少要因がありましたが、減価償却費の計上などから11億36百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の売却による収入がありましたが、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、29億28百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや自己株式の取得による支出がありましたが、有利子負債の増加などから、11億84百万円増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から6億7百万円減少し、73億83百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正、特別利益（投資有価証券売却益）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,990	7,383
受取手形及び売掛金	23,436	24,044
商品及び製品	11,227	12,230
仕掛品	464	552
原材料及び貯蔵品	5,181	7,449
その他	1,522	1,635
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	49,813	53,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	62,794	63,491
減価償却累計額	△44,958	△45,610
建物及び構築物(純額)	17,836	17,881
機械装置及び運搬具	73,270	74,588
減価償却累計額	△56,785	△58,339
機械装置及び運搬具(純額)	16,485	16,249
工具、器具及び備品	4,991	4,903
減価償却累計額	△3,505	△3,447
工具、器具及び備品(純額)	1,485	1,455
土地	18,722	18,665
リース資産	9,205	9,736
減価償却累計額	△4,149	△4,565
リース資産(純額)	5,055	5,170
建設仮勘定	500	764
有形固定資産合計	60,085	60,186
無形固定資産		
投資その他の資産	2,267	1,907
投資有価証券	11,718	11,551
関係会社株式	218	247
長期貸付金	16	16
退職給付に係る資産	2,130	2,306
繰延税金資産	319	329
その他	2,463	2,421
貸倒引当金	△129	△119
投資その他の資産合計	16,737	16,752
固定資産合計	79,090	78,846
資産合計	128,903	132,132

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,913	22,954
短期借入金	8,100	12,251
1年内返済予定の長期借入金	2,817	2,446
リース債務	1,084	1,103
未払金	6,216	6,283
未払法人税等	171	169
未払消費税等	308	252
賞与引当金	810	863
その他	1,308	1,340
流動負債合計	41,729	47,663
固定負債		
長期借入金	4,551	3,509
リース債務	4,118	4,214
繰延税金負債	992	817
退職給付に係る負債	1,378	1,412
その他	644	662
固定負債合計	11,685	10,617
負債合計	53,414	58,280
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	44,132	42,800
自己株式	△3,066	△3,342
株主資本合計	69,868	68,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,990	4,863
繰延ヘッジ損益	71	100
為替換算調整勘定	33	60
退職給付に係る調整累計額	△133	△97
その他の包括利益累計額合計	4,962	4,928
非支配株主持分	658	662
純資産合計	75,489	73,851
負債純資産合計	128,903	132,132

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	109,204	110,557
売上原価	92,599	95,364
売上総利益	16,605	15,193
販売費及び一般管理費	16,503	15,947
営業利益又は営業損失(△)	101	△754
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	160	162
不動産賃貸料	86	75
その他	150	133
営業外収益合計	406	380
営業外費用		
支払利息	111	112
その他	39	28
営業外費用合計	151	141
経常利益又は経常損失(△)	356	△515
特別利益		
固定資産処分益	129	41
特別利益合計	129	41
特別損失		
固定資産処分損	222	124
減損損失	9	8
投資有価証券評価損	24	—
特別損失合計	255	132
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	230	△607
法人税、住民税及び事業税	134	110
法人税等調整額	△16	△150
法人税等合計	117	△40
四半期純利益又は四半期純損失(△)	113	△567
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	8
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	98	△575

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	113	△567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△331	△126
繰延ヘッジ損益	△2	29
退職給付に係る調整額	51	35
持分法適用会社に対する持分相当額	—	27
その他の包括利益合計	△282	△34
四半期包括利益	△169	△601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△184	△609
非支配株主に係る四半期包括利益	14	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)	230	△607
減価償却費	3,820	3,767
減損損失	9	8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△172	△94
受取利息及び受取配当金	△169	△171
支払利息	111	112
投資有価証券評価損益 (△は益)	24	—
固定資産処分損益 (△は益)	92	83
売上債権の増減額 (△は増加)	366	△601
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,485	△3,344
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,397	2,054
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11	△56
その他	△235	△80
小計	4,974	1,059
利息及び配当金の受取額	174	194
利息の支払額	△111	△112
法人税等の支払額	△179	△144
法人税等の還付額	62	159
特別退職金の支払額	△204	△19
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,716	1,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△18	△18
固定資産の取得による支出	△2,914	△3,012
固定資産の売却による収入	580	153
その他	△122	△51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,475	△2,928
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	822	4,151
長期借入金の返済による支出	△1,330	△1,413
リース債務の返済による支出	△469	△517
配当金の支払額	△761	△755
自己株式の取得による支出	△368	△276
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,113	1,184
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	128	△607
現金及び現金同等物の期首残高	8,476	7,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,604	7,383

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	33,028	—	33,028	—	33,028	—	33,028
調理加工食品	41,308	—	41,308	—	41,308	—	41,308
食肉事業	—	34,783	34,783	—	34,783	—	34,783
その他	—	—	—	83	83	—	83
顧客との契約から 生じる収益	74,337	34,783	109,120	83	109,204	—	109,204
外部顧客への売上高	74,337	34,783	109,120	83	109,204	—	109,204
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	373	373	△373	—
計	74,337	34,783	109,120	456	109,577	△373	109,204
セグメント利益又は損失 (△)	△239	308	68	33	101	—	101

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、第2四半期連結累計期間においては9百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	31,323	—	31,323	—	31,323	—	31,323
調理加工食品	42,091	—	42,091	—	42,091	—	42,091
食肉事業	—	37,075	37,075	—	37,075	—	37,075
その他	—	—	—	67	67	—	67
顧客との契約から 生じる収益	73,414	37,075	110,490	67	110,557	—	110,557
外部顧客への売上高	73,414	37,075	110,490	67	110,557	—	110,557
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	417	417	△417	—
計	73,414	37,075	110,490	484	110,974	△417	110,557
セグメント利益又は損失 (△)	△767	△6	△774	19	△754	—	△754

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては8百万円であります。